

平成29年度 事業計画

日本アルコール産業株式会社

平成29年3月31日

平成29年度の事業運営の基本方針

平成29年度は、適正な営業利益を確保しつつ、昨年度の合成メーカーのトラブルを踏まえ、かつ、更なる成長を目指し、安定供給基盤の強化に発酵、合成ともに取り組みます。

①アルコール事業は、発酵アルコールについては出水工場の設備更新工事と鹿島工場の設備増設準備を確実に実行に移し、『安全で安心な製品』を安定供給する基盤の強化に取り組み、品質向上と製造コスト削減により競争力を強化しつつ、原料価格及び市場動向を踏まえ、営業黒字の確保を目指します。また、合成アルコールについては販売数量の維持、拡大を図り、日本合成アルコール株式会社における設備更新を促進し、安定供給基盤の確立を支援します。

②関連事業は、手指消毒剤（キビキビ）の販売数量を拡大するとともに、土壌還元消毒用資材（エコロジアル）及び肥料製品（たわわ、サトウキビのちから水）の生産体制等の整備により、当該製品の販売数量の大幅な拡大を図り、営業黒字化に努めます。

I. アルコール事業

- 出水工場の蒸留塔更新工事と鹿島工場の製造設備増設準備等を確実に実行し、安定供給基盤の強化を図ります。
 - ・ 販売見込みに応じたサプライチェーンマネジメントを徹底し、3工場の最適生産を行い、安定供給を確保します。
 - ・ 製品品質の管理を徹底します。
 - ・ 原料貯蔵能力を最大限活用し、アルコール原料の安定的調達を図ります。
- 合成アルコールは、販売数量の維持、拡大を図り、日本合成アルコール株式会社の設備更新を促進し、安定供給基盤の確立を支援します。

II. 関連事業

- アルコール製品は、手指消毒剤（キビキビ）の備蓄品の買い替え促進、新規備蓄需要先の開拓、一般向け販売ネットワークの拡大を図り、販売数量の拡大を目指します。また、除菌消臭剤の新製品の開発に取り組みます。

- 土壌還元消毒用資材（エコロジール）は、PR活動を強化しつつ、貯蔵施設の整備により販売数量の大幅拡大を図り、営業黒字化を目指します。
- 肥料製品は、販売数量の増大に対応できる生産体制の整備により、販売強化を図るとともに、有機JAS適合資材の製品化等を図り、営業黒字化を目指します。

Ⅲ. 技術力の強化

- 製品品質の向上、製造コストの低減に向け、微量成分の分離技術の開発を検討します。
- 運転条件、プロセス変更等の検討のため、蒸留プロセスシミュレーション技術の活用拡大を図ります。

Ⅳ. 人材力の向上

- グループでの計画的な採用、教育、訓練、研修、資格取得を通じ、人材力の向上を図るとともにグループ人事交流による人材活用を図ります。

- 技術系社員人材育成プログラムの実行等を通じて、技術系人材の育成と技能向上を図るとともに、技術報告会等による技術の水平展開を図ります。

V. 安定配当の継続

- 適正な営業利益を確保し、安定配当を継続します。

収支計画概要

以上の取り組みにより、平成29年度事業計画では、以下の目標の達成を目指します。

(単位:百万円)

売上高	27,222
営業利益	643
経常利益	647